

月二十日午後六時より同大学倶楽部に於て晚餐会を開催したり互に久濶を叙して主客宴席に就き杯を引て食ひ且つ談し宴酣に菊池学長は起て来賓遠来の労を謝し且つ中央大学の近況を述へ杯を挙げて来賓の健康を祝し横田大審院長は来賓を代表して謝辞を述へ嘗て司法省に在りて認可学校規則を制定したる當時を追懐して私立大学今昔の感を説き終に杯を挙げて中央大学の万歳を三唱し夫れより主客雑談に耽りて一同散会したるは午後十時頃なり当日の出席者は石井常英、乾孚志、飯田高顕、石山彌平、磯谷幸次郎、伊藤悌治、馬場愿治、遠山正綱、千葉直枝、小沢甚市、大井七郎、奥田義人、渡辺八郎、柏木五百次郎、河西博文、笈武文、鹿又武三郎、横田国臣、吉江高行、高橋克親、竹田武勝、田中秀夫、高野兵太郎、滝川長教、土屋達太郎、常井誠一郎、中谷速水、牛山松蔵、氏野徳太郎、卜部喜太郎、能勢万、野々山茂、国分三亥、栃木義春、黒田英雄、山本辰六郎、松野篤義、藤田隆三郎、古森幹枝、寺島小五郎、阿部義彰、安達駿三郎、佐藤信、佐藤正之、吉良辰次郎、菊池武夫、雪下陽、三家重三郎、三田幸司、三宅碩夫、執行軌正、下田泰岳、下山英五郎、平石氏人、日高美容、百瀬武策、森彦逸、百島一八、末永晃庫、杉阪実等の諸氏なりし

287 司法官招待会

〔『法学新報』第21巻5(242)号 明治44年5月1日〕

○司法官招待会 中央大学に於ては今回司法官会議の爲め出京せられたる台湾、朝鮮、関東を始め全国司法官諸氏を招待し去